

外部評価意見への対応方針

番号	年月	外部評価意見	対応方針	分類
第1回区政会議（合同会議）				
1	H28.7	【意見聴取のあり方について】 あなたの声をつなげ隊は発足当初はよく見かけたが、最近はまだ見かけない。	“つなげ隊”の活動であるとわかっていただけるよう、青い揃いのユニフォームを着用し、区内スーパー前や公園などで、皆さんのご意見をお伺いしています(28年度も、5月から9月までを中心に7テーマについて聴取、また、保健福祉センター分館で毎月の1歳半検診時に子育てスタート応援券について聴取)。引き続き、様々な場所で積極的に区政に関する意見の聴取に取り組んでいきます。	①
2	H28.7	【安心・安全】 防犯教室は予算規模は少ないが、しっかり取り組んでほしい。	区役所では区内8小学校の新1年生を対象に警察と連携して「子ども安全教室」を開催し、防犯意識の啓発を図るとともに被害防止に向けた行動の指導を行うほか、区民まつりにおいて子どもに対する交通安全・防犯意識の啓発を行うなど、子どもを対象とした地域安全防犯の向上に向けた取組を行っています。引き続き、今後も子どもたち自身の防犯意識の高揚を図るための取組を進めていきます。	①
3	H28.7	【安心・安全】 交通マナーであるが、自転車・オートバイが歩道・車道に駐車されている。行政として所有者また事業者には注意すべきでは。	区役所では、今年度から警察署と連携して自転車マナーの向上と交通事故防止に向けた「交通安全出前講座」を実施しており、マナー啓発に努めています。今後も引き続き区民の皆さんの自転車マナー向上に向け、一人でも多くの方に正しいマナーを身に付けていただけるよう、積極的に取組を進めてまいります。	①
4	H28.7	【安心・安全】 上汐北公園で何かを燃やしている、不審な車が停車している等の行為がある。見守りが必要である。	区役所では「安全パトロール隊」による区内の巡回警備を行っており、区民の皆さんや地域団体の皆さん等と連携を図りながら、地域安全防犯の向上に取り組んでいます。不審な事案を見聞きした場合には、区役所(安全パトロール隊 6774-9912)へご連絡ください。なお、火災の恐れがあるなどで急を要する場合は警察(6773-1234)へご連絡ください。	①
5	H28.7	【教育】 児童が増えていく中で、今後、教室のスペース、空調設備等について、どのように対処しているのか。	教室不足については、児童数の推移を注視しながら特別教室等からの転用などで対応しています。また、普通教室の空調工事については、平成28年度で整備を終えたところです。	①
6	H28.7	【教育】 インターンシップ事業は継続してほしいが、委託事業者によっては、望ましがらざる結果になることも考えられるので、選定委員には事前にきっちり確認していただきたい。	インターンシップ事業については、事業費に対して参加者が少ないなど課題もあることから、実施方法などを見直し、より良いキャリア教育の機会が提供できるものとなるよう検討してまいります。	②
7	H28.7	【教育】 ディベートスクール事業は、英語が苦手な子どもも含めて底上げを図るような事業としてほしい。	英語ディベートスクール事業については、平成28年度からグローバル人材育成事業として見直し、小学生を対象とした英語体験活動プログラムも実施することで、低学年から英語学習に興味を持ってもらうことを目指しています。中学生の内容についても、英語力に応じ中学校1、2年生でも楽しく学べるものとなるよう工夫してまいります。	②
8	H28.7	【高齢者】 高齢者で地域の集まりに来られない人もいます。行政としてどのような対処をしているのか。	地域ごとで開催いただいている高齢者食事サービスやふれあい喫茶などの催しは、毎月広報紙や地域の掲示板で周知しており、是非ともご参加いただきたいと思います。独居高齢者等見守りサポーター事業では、地域のご協力で月1回程度の訪問活動を行っております。	⑤
9	H28.7	【施策】 区長が交代したが、見直しを図る事業はないのか。	すべての事務事業を対象に、「区民の声」を反映する仕組み「PD“L”CAサイクル」を導入しています。「PD“L”CAサイクル」の徹底により、適時、事業・施策の見直しを図り、真に必要な区民サービスの実施や重点施策の推進に取り組んでまいります。	①
10	H28.7	【情報発信】 様々なよい取組みをしているのは分かるが発信が足りない。「良い事業を発信すること」そのものを事業として取り組むべき。	区の特徴ある取組みについて、広報紙等において、積極的な情報発信を行ってきました。引き続き、広報紙の特集記事の活用やホームページ、各種SNS等様々な媒体を活用しながら、“見える化”を意識した情報発信の強化に取り組んでまいります。	①
11	H28.7	【情報発信】 広報紙は平日に新聞折込みされても読まない。土曜日の朝刊にはさむなど工夫してみてもどうか。	区広報紙には、24区共通の市政情報をお届けする「おおさか掲示板」(3面分)が含まれております。「おおさか掲示板」は毎月1日の発行を前提に紙面作成されており、区政情報の紙面も1日発行に合わせて掲載内容を調整、行程を管理する必要があることから、変更は困難と考えます。	④
12	H28.7	【情報発信】 広報紙の表紙が写真だけで情報がなくもったいない。	より多くの区民のみなさんに区政情報を届けることができるよう、“思わず手に取りたくなる広報紙”をめざして、表紙にインパクトのある写真などを採用することにより、読者を2面以降の特集記事や区政情報に誘導する効果を期待しています。	④

外部評価意見への対応方針

番号	年月	外部評価意見	対応方針	分類
第1回区政会議（合同会議）				
13	H28.7	【情報発信】 あなたの声をつなげ隊の活動を他区に広げるべき。区長会など行政内部の場でのアピールだけでなく、地域の集まりなどでもアピールしていくべき。	区の特徴のある取組みとして、PRを強化するとともに、区職員のみならず、まちかどパートナーが、地域の高齢者食事サービスやふれあい喫茶に参加した際に、取組みのPRを行ってまいります。	①
14	H28.7	【安心・安全】 消防署とタイアップして消防点検の折りに、マンションの管理組合などに働きかけていく接点を取ってみたいかどうか。	今年度からマンション等集合住宅の管理組合、管理者等を対象に、マンションでの防災対策を進めるための取組をスタートしています。今後、マンション同士で防災の課題を共有し、検討する「勉強会」の開催を予定しているほか、個々のマンションに対して防災の取組を促す働きかけを積極的に進めていきます。	①
15	H28.7	【安心・安全】 一つ一つのマンションだけではなく、マンション同士を繋げる試みを。	今年度からマンション等集合住宅の管理組合、管理者等を対象に、マンションでの防災対策を進めるための取組をスタートしています。今後、マンション同士で防災の課題を共有し、検討する「勉強会」の開催を予定しており、マンション同士の情報交換、交流の促進を図っていきます。	①
16	H28.7	【自転車マナー】 以前は小学校で自転車マナー向上の講習をやっていたはずだが、今はやっていない。ぜひ小学校で保護者にも見せる形で講習会を警察署と連携してやって欲しい。	小学生に対しては警察署が各校で自転車マナー講習を行っています。区としては、小学生以外の方にも多くの方に正しいマナーを身に付けていただきたいと考えており、今年度、警察署と連携してマナー向上と交通事故防止に向けた「交通安全出前講座」を実施しています。	⑤
17	H28.7	【子育て支援】 子育てスタート応援券事業の対象事業を他区の事業者へ広げることにはできないか。	子育てスタート応援事業は、乳幼児期からの体験・教育機会の提供等により、以降の教育投資を促進するとともに、区内で子育て支援サービスを提供する民間事業者等の活動促進も目的としております。応援券の交付が天王寺区民に限定されていることから、原則、天王寺区内でサービスを提供できる事業者に限定しており、交付の対象外である他区民の心情にも配慮し、他区事業者への拡大は困難であると考えます。	④
18	H28.7	【子育て支援】 保育所の待機児童を減らす取組みを。	待機児童の解消をめざし、平成28年8月に市長をチームリーダーとする「大阪府待機児童解消特別チーム」が発足、待機児童数の多い当区もメンバーとして待機児童の解消に向けた方策の検討などに取り組んでいるところです。 引き続き、区内の認可保育所設置及び小規模保育事業の実施に向け、待機児童対策を所管することも青少年局と連携しながら、取組みを強化してまいります。	①
19	H28.7	【運営方針】 区運営方針の資料が分かりにくい。もう少し分かりやすい資料を提示して欲しい。	運営方針の様式は、全市共通の規定様式ですので、変更することはできません。区政会議の審議用資料や情報発信に際しては、よりわかりやすい概要版を作成するなどの工夫を継続してまいります。	①
20	H28.7	【マンションの町会加入】 町会に入っていないマンションが多い。マンション住民でも個人で町会に加入できることを、アピールすべき。	「住みよいまちをみんなで作る」という観点から、その活動に参加いただけるように、天王寺区地域振興会への加入を促す旨、天王寺区ホームページに掲載しています。引き続き、地域振興会等の地域におけるコミュニティの必要性・重要性を認識していただけるように区民の方々に周知に努めてまいります。	①
21	H28.7	【マンション内の防災委員会の設置】 防災委員会を定期的に開催することで、活発な活動ができた。マンション同士で、防災活動の成功事例の共有や子どもたちの消火体験などは良い取組みだと思うがどうか。	今年度からマンション等集合住宅の管理組合、管理者等を対象に、マンションでの防災対策を進めるための取組をスタートしています。今後、マンション同士で防災の課題や成功事例などを共有し、検討する「勉強会」の開催を予定しており、マンション同士の情報交換、交流の促進を図りたいと考えています。また、区としてもお子様が小さいうちから防災の知識を身に付け、意識を高めることは大変有意義と考えていますので、マンション等での防災訓練などの機会をとらえて消防署と連携した防災の取組を進めていきたいと考えています。	①
22	H28.7	【子どもたちへの防災に関する啓発】 「聖和防災ふえすた」に子どもたちが参加し体験したことは、子どもが家庭内で共有し、親への啓発につながる。学校のカリキュラムとして、年に数回防災の授業をしてほしい。	お子様が小さいうちから防災の知識を身に付け、意識を高めることは大変有意義であり、またご意見のとおり保護者の皆さんへの啓発にもつながると考えています。区としては各校が防災の取組を行う際には積極的に連携して進めたいと考えており、ご意見については教育行政連絡会などを通じて各校へお伝えし、積極的な取組を要請してまいります。	⑤

外部評価意見への対応方針

番号	年月	外部評価意見	対応方針	分類
第1回区政会議（合同会議）				
23	H28.7	【駐輪問題】 足が痛いなどの理由で、自転車を利用する高齢者も多い。高齢者が自転車を利用する際、店から遠い駐輪場は利用しにくい為、店頭に置くことがある。高齢者や商店、通行人が気持ちよく道路利用ができるように、高齢者の自転車を示すシールなどを貼り、買い物時の一時駐輪を認めるよう区から商店にも働きかけるような制度ができないか。高齢者が安心して地元で買い物でき、区の商業振興にもつながると思う。	火災などの非常時や災害時の際の通行の妨げ、また高齢者・ベビーカーの通行に支障が生じることから対応は困難です。	④
24	H28.7	【レジェンド・イン・ハイスクール事業】 (サッカー・剣道など)指導を受けられる競技を広げてほしい。部員が少ない場合は3中学校合同での開催など、参加できる子どもの裾野を広げてほしい。	レジェンド・イン・ハイスクール事業については、スポーツセンターにおいて中学校合同で実施するなど多くの生徒が参加できるよう工夫しています。これまで競技人口が多いスポーツから実施してきたところですが、今後は学校の個々のニーズを踏まえ他のスポーツや文科系クラブの指導も可能なものとなるよう見直す方向で検討してまいります。	②
25	H28.7	【ジュニアクラブ】 ジュニアクラブは地域の人材を育てるいい取組であり、いろいろな体験ができるようにして、参加者を増やしてほしい。	天王寺区ジュニアクラブについては、将来の地域活動の担い手を育成する観点から、イベントへのボランティア参加や区内の施設見学などを実施しています。協力いただいている地域の方(運営委員)とも相談しながら、子どもたちにとって有意義なプログラムを提供するとともに、学校と連携して事業の周知を丁寧に行っていくと考えております。	①
26	H28.7	【下寺町地域の交通手段確保事業】 タクシーチケットは1回500円分の補助である。現実的に病院まで行けるような金額にするべきでは。	市の重度障がい者等を対象としたタクシー料金の給付について、一回500円を上限としていることから、公平性を考慮し金額を設定しています。	④

※分類

- ①当年度(28年度)において対応 ②29年度運営方針に反映または29年度に対応予定
③29年度では対応できないが、今後引き続き検討 ④対応困難または対応不可
⑤その他

外部評価意見への対応方針

番号	年月	外部評価意見	対応方針	分類
第2回区政会議（合同会議）				
1	H28.12	【意見聴取のあり方について】 あなたの声をつなげ隊は、高齢者食事サービスでも活動すべき。それをPRすればいいのでは。	あなたの声をつなげ隊については、今後についても時間の許す限り、様々な場所にお伺いし、区民の皆さんのご意見を聴取することとしております。その時々状況を積極的にPRしていくことで、その認知度も高めていくこととしております。	①
3	H28.12	【地域との連携】 防犯カメラについては企業の協賛でできないか。地域資源とのつながり、連携などは行政として受け止める窓口が必要である。	天王寺区では、区内で活動する団体や企業、事業所等が、それぞれの持つ強みを活かし、協力できる時期と範囲内で、区役所と相互に協力、応援し、地域課題の解決や福祉の増進を図っていく新たな取組「天王寺区サポーター制度(テンサボ)」を開始しました。安心・安全のまちづくりにご協力いただける企業、事業所等を募集する中で防犯カメラの提供についても協賛をお願いしているところです。	①
4	H28.12	【シティ・プロモーション】 真田丸関連のイベントは継続的に実施するのか。天王寺区だけでなく阿倍野区など周辺区とも連携した取組ができないか。	今後、天王寺区にゆかりのある真田幸村や聖徳太子、熊野街道などの歴史的・文化的資産の魅力を発信することとしており、実施にあたっては、周辺区との連携によって、より効果的なものとなるよう取り組んでいくこととしています。	②
5	H28.12	【安心・安全】 地域独自で防犯カメラをつけるとなると手続きが煩雑であるが、何等か軽減する方法はないのか。	防犯カメラの設置については、道路の占用及び使用許可が必要であり、それぞれ建設局と所管警察署への申請手続を行う必要があります。区が建設局と協議を行った結果、同局に対する道路占用許可申請を行っていただいた後の書類の受け渡しについて、同局へご持参いただくことなく郵送等により対応できるようになりました。ご理解賜りますようお願いいたします。	①
6	H28.12	【ボランティアへのサポート】 ボランティアベースでも、区役所からのサポートが必要な場合がある。寄附を募るとかのプログラムはあるのか。	真田幸村博については、「六文銭ファンド」と称し、区政推進基金を活用して寄附金を募りました。本基金の特徴は、各区の施策に柔軟に活用できることにあります。今後も積極的な呼びかけを行い、寄附を募ることとしております。	①

※分類

- ①当年度(28年度)において対応 ②29年度運営方針に反映または29年度に対応予定
 ③29年度では対応できないが、今後引き続き検討 ④対応困難または対応不可
 ⑤その他